

内部障害

内部障害は、病気などで身体の一部（心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸）の働きが弱くなったり、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能の障害です。

継続的な医療的ケアが必要な人も多く、日常生活に支障が出る場合があります。外見からはわかりづらいことが多いので、公共交通機関の優先席の利用や障害者用トイレを利用する時など、「健常者なのに…」などと誤解されることがあります。

※内部障害に関する相談

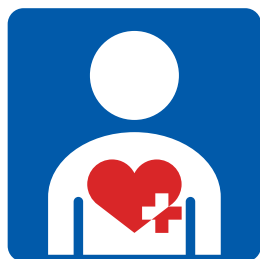
障害者総合支援センター（ウェルポート）など……P.32～参照

必要な配慮等

●職場では、本人の体調や通院等に配慮し、出退勤時間・休憩時間等を調整するなどの配慮が必要です。

こんなことで困っています

- ◆病気により、疲れやすいため、バスの優先席に座ったところ、運転手から注意された。
- ◆心臓にペースメーカーを入れているので、混雑した場所で、携帯電話を使用されると不安。
- ◆オストメイト（人工肛門・人工膀胱を造設している方）用の掲示がないと、車イス用トイレの使用がしづらい。
- ◆HIVについての正しい理解がなく、偏見がある。



ハート・プラスマーク

「身体内部に障害がある方」
を表すマークです。

